

第3回日南線（油津・志布志間）の将来を考える会議 議事概要

日時：令和8年5月29日（金）14：00～15：40

場所：宮崎県庁7号館 744号室

日南線油津駅から志布志駅までの区間における現状や課題を共有し、将来のあり方を検討する「日南線（油津・志布志間）の将来を考える会議」について、第3回検討会議を開催したところであり、その議事概要は以下のとおり。

1 開会

2 挨拶【会長：宮崎県総合政策部総合交通課長】

- ・これまで2回にわたり沿線地域の将来の交通のあり方について議論を重ねてきたところ。前回の議論を踏まえ、これまで調査出来ていない19歳以上の沿線住民の方へアンケート調査を実施した。
- ・調査結果を踏まえ、忌憚ない意見交換をお願いしたい。

3 報告事項

事務局から資料1及び2について説明。

4 意見交換

報告事項を受け、委員による意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。

【自治体】

- ・今回の調査は高校生などの主たる利用者である層を除き実施したが、一定程度の住民の利用があることが分かり、地元にとって重要な役割を果たしていることを改めて認識した。
- ・目的地が駅から遠いという意見が多く、路線と生活圏にズレが生じているのではないか。目的地となる施設がいつ頃設置されたのかについて把握することで、移動需要の傾向などが見えてくるのではないか。
- ・駅からの二次交通がネックになっているのではないかと考えるが、個人の生活パターンは無数にあり、全てに対応するのは困難と感じた。
- ・現時点の評価だけでなく、これまでの調査結果を活かしつつも広域的な移動実態の把握など、将来を見据えた調査が重要である。

【九州旅客鉄道株式会社】

- ・今回の調査では、「自由なタイミングで移動したい」「駅から目的地の距離が遠い」といった意見が多く、鉄道が住民の求めるニーズに応えられていないと感じた。

- ・また、これまでの乗り込み調査や今回の利用意向等をみても利用者数は多いといえず、鉄道の大量輸送特性は発揮できていない。
- ・交通手段として「自家用車」の選択理由で「時間通りに目的地に移動できるから」が多いのは、道路の利便性が高い点も影響していると考えている。
- ・これまでの調査や既存のデータを整理し、得られた考察については委員の中で共有したい。また、目的や必要性を確認した上で、収集できていない部分や他県の事例なども含めて調査・評価すべきではないか。

【有識者】

- ・公共交通が利用できるにもかかわらず、認知されていない等の理由で利用されていないといった可能性があるのではないか。
- ・全ての都市機能を単体で確保するのではなく、3市で分担して維持していくという観点も重要なのではないか。

意見交換後、会長より、以下のとおりまとめがあり、すべての委員が同意。

- ・これまでの調査結果や既存の交通網等の分析、広域的な移動実態の把握、他地域における事例の収集などについて外部の専門家を活用した調査を実施していくこととし、その内容等については、今後、事務局等で検討・整理する。

以上